

刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟 刀剣博物館を見学

去る6月4日(月)、自民党議員による「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」に参加の議員12名及び文化庁文化財部長以下5名の方々が、刀剣博物館見学のために来館されました。

我が国の国宝に指定されている刀剣の数をみると、刀剣は美術工芸品の頂点に位置するものであり、伝統や文化に根ざし引き継がれる神聖な工芸品で

あることから、その伝統・文化を守り振興していくことを目的として当該議員連盟が発足されました。

さらに、日本刀の原材料である和鉄(玉鋼)は、現在、当協会と日立金属により運営される「日刀保たたら」で生産されていますが、昨今の消費量減少により、厳しい経営を迫られている現状を鑑み、技術の継承と原材料の安定

供給のためにも、和鉄文化の保存振興は責務であることも発足の要因であるとのことです。

今回、刀剣博物館の見学に参加された方々は、展示室では協会学芸員の説明を受けながら刀剣を鑑賞され、情報コーナーでは「たたら操業」についての説明に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

今後ともご支援・ご協力を賜り、日本刀及びたたら製鉄が、我が国の誇る伝統文化として広く普及啓蒙されてゆくことを願うものです。

写真提供・生野正

